

月曜日

18

きょうのみことば

使徒 2:41~42

そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。(28)

出会いの祝福を味わおう

ある子が学校で出会った悪い友だちのせいで、ぬすみグセを持つようになりました。そして、あとから、その子は、どろぼうになって、刑務所に行くようになりました。しかし、ダニエルは、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴといっしょにみことばをにぎって祈って国を生きました。人は、だれに会うのかによって、このように人生がちがうようになります。

1. 出会いはすべてのことを左右します

ほかの人のものをぬすみ友だち同士が集まったり、ゲーム中毒になっている友だち同士が集まることを「出会いのろい」と言います。しかし、こういう友だちでも、インマヌエルの祝福を味わうレムナントに会えば、出会いのろいが、自然に崩れます。そして、出会いの祝福が始まります。

2. 神様は出会いを通して祝福の計画をなさいます

同じような人々どうしがおたがいにつきあうという「類は友を呼ぶ」ということばのように、神様も同じ人どうし会うようにされます。伝道者には弟子を、いのちがある人には、いのちを受け取る人に会うようにされます。レムナントは出会いを通して神様の計画を見るべきです。

3. 神様がくださった出会いを通して光(キャンプ)を伝えましょう

レムナントは、出会いの中でいのちの光が見られるキャンプをしなければなりません。光を照らせば、まわりにいる人々が救われます。私の力でむりにしなくてもよいのです。聖霊さまが導いてくださるとおりすればよいのです。こういう祝福された出会いが続けば、現場が変わります。

神様。出会いのろいを崩して、出会いの祝福がおきて、私のまわりの人々が救われ、聖霊の導きと聖霊の満たしを味わいますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTCのために祈りましょう

その次の日、ヨハネのふたりの弟子が、イエス様をたずねて行きました。イエス様は、かれらといっしょにおられました。二人の弟子の中のひとりだったアンドレは、兄のシモンをイエス様のところにつれて行きました。イエス様はシモンの名前をケバ(ペテロ)と、かえてくださいました。



その次の日、イエス様はピリポに会って「わたしにつれて来なさい」と言われました。ピリポはナタナエルをイエス様のところにつれて来ました。イエス様はナタナエルを弟子とされました。このように、イエス様を体験した人は、他の人々にイエス様を伝えて、イエス様につれてくる出会いの祝福を味わいます。

本の中の本

ヨハネの福音書1章のはなし



はじめに、みことばがありました。そのみことばは神様とともにおられて、そのみことばは、すなわち神様です。その方を通してすべてが創造されました。その方の中にはいのちがあつて、そのいのちは人々をてらす光です。その光がやみをしてらしたのですが、やみは分からなかつたし、その方がご自分の地に来られたのに、その民は受け入れませんでした。

よく見れば事実が見えます

火曜日

19

きょうのみことば

ルカ 10:1~20

その後、主は、別に七十人を定め、ご自分が行くつもりのすべての町や村へ、ふたりずつ先にお遣わしになった。そして、彼らに言われた。「乗りが多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。(1-2)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

イスラエルの民の目には、エリコの町は絶対にくずすことができない、大きく固い町でした。しかし、信仰の目が開かれて、よく見ると、重要な事実が見えました。まずエリコの町を出入りする人は、一人もいなくて、また、指導者は、すでにみんなにげてしまっていたのです。

1. できごと、事件、問題を見る方法

「なぜ、とつぜん、私がいじめられるのか」霊的な目で見なければ、サタンの策略にやられて、がっかりしてしまいます。それで、聖霊に満たされためがねをかけて、問題の中にある神様の計画を発見しなければなりません。神様はレムナントに大きい計画を持っておられ、最後まで守って導いてくださいます。

2. 聖書に現れた事実を見ましょう

イスラエルの民は、神様のみことばを自分たちによりよく解釈しました。キリストが自分たちが願う姿で来ることを希望しました。聖書を正しく事実どおりに見ることができなかったためです。レムナントは、福音の目で聖書を事実どおりに見るべきです。

3. 伝道を事実どおりに見るべきです

霊的な目を開けて、現場をよく見ましょう。そうすれば、未信者をだまして、信じている者を倒そうとするサタンの策略が見えるでしょう。事実を正確に見れば、だまされません。かえって信仰で戦って勝利します。そして、行く現場ごとに伝道の実がいっぱいなります。

神様。私はすぐに、つばやきと、不信仰の目で問題を見ます。正確な事実を見ることができるよう信仰の目を開けてください。いつも福音に、いちばんよい方向に向かって生きていくことができるように祝福してください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



イエス様が来られる前に、ヨハネという人がいました。ヨハネが神様が送られると約束されたキリストなのかと思っていました。しかし、ヨハネは「私は主の道をまっすぐにしなさいと荒野でさけぶ人の声だ」と話しました。



ヨハネは、ヨルダン川の向い側のベタニヤでバプテスマを授けていたのですが、そのようなある日のことです。イエス様が自分のところに来られるのを見て驚きました。「見よ。世の罪をとりぬく神の小羊」と言いました。ヨハネがイエス様にバプテスマを授けたら、神様の聖霊が鳩のように天からおりてきて、イエス様の上にとどまり天から、「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」という声が聞こえました。

水曜日

20

きょうのみことば

使徒 11:19~26

そして、主の御手が
彼らとともにあったので、
大ぜいの人が信じて主に
立ち返った。(28)

げんば 現場はいちばん大きな 答えのはじまり

伝道しようと努力しないで。私がいる現場で、しづかに神様と
交わって、神様がくださる力で答えを受けているだけでよいの
です。そうすれば、ことばで言わなくても、ほかのお友だちが私
を見て、わかるようになります。そのときに、お友だちに福音
を正確に話してあげればよいのです。

1. 現場でキリストの契約をにぎりましょう

「私はなんの問題もない。私は勉強もよくできて、家は金持
ちなのだ」と言う友だちはいますか。ところで、本当にそうで
しょうか。ちがいます。自分のたましいの問題を解決できない、
勉強できる子どもの告白であるだけです。うえかわくことを満
たすこともできない、かっとうする者の告白であるだけです。

2. 現場で神の国を待ちましょう

「いつになったら、私もヨセフのような答えを味わえるので
しょうか」答えがなくて待つのは、はるかに遠いことです。しか
し、神様の子どもは、かならずのぞむ神の国のために祈りなが
ら待てます。この時から現場が変化する本物の祝福があらわれ
ます。

3. 現場で聖霊に満たされた証人になりましょう

することには、先にしなければならぬことと、あとにすること
があります。先にしなければならぬことは現場で契約をに
ぎることです。そうすれば、現場ごとに神の国がのぞみます。
神様が大きい力をくださるから、人々が認めるしかない確実な
証拠を持った福音の証人になります。

福音の中で、すべての答えがみんなあるという事実をさとらせてくださって、本当に感謝
します。すべてのことにキリストの契約をにぎって、神の国を待つ聖霊に満たされるレムナ
ントとして導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン

定刻祈りの点検：昼 12時 教会のために祈りましょう。夜 9時 RUTC のために祈りましょう

イエス様を信じる信徒には
なにが必要でしょうか？

すべてのいのりと ねがいをもちいて、どんなときにも

みたまによっていのりなさい。そのためには たえず

目をさましていて、すべてのせいとのために、にんたいの

かぎりをつくし、またいのりなさい。(エペソ 6:18)

あなたがたも いのりによって、わたしたちを たすけて

きょうりよくして くださるでしょう。それは、おおくのひとびとの

いのりにより わたしたちに あたえられた めぐみについて、

おおくのひとびとが かんしゃをささげるようになるためです。

(だい2コリント 1:11)

おなじ
ように書き
ましょう

金曜日

22

きょうのみことば

1 コリント 1:18 ~ 25

十字架のことは、滅びに至る人々には愚かであつても、救いを受ける私たちには、神の力です。(18)

唯一性の答えを持った レベルにアップ!

赤色(赤)といっしょにあれば、赤くなるということば「赤に交われれば赤くなる」があります。悪い人といっしょにいれば、悪い人になるのです。福音を持ったレムナントは、この世の暗やみの影響を受けるより、福音のあかるい影響をおよぼす人になるべきです。

1. 福音のゆえに、最高のレベルをそなえましょう

実をとろうとするなら、まず木を植えなければなりません。水もあたえて、肥料もいれなければなりません。こういう基礎の作業なしで実をとることはできません。勉強も同じです。勉強できないと、プライドが傷ついたらだけ考えず、自分のレベルを正確に知って、着実に努力しましょう(更新)。また、謙虚な心と態度、福音的な考え、時刻表に合う生活を送って、美しいことばを使うレムナントになりましょう。

2. 知識と対話と情緒が通じるようにレベルを高くしよう

人は知識と情緒と対話に通じてこそ、いっしょにすることが出来ます。レムナントは、どんな人とも、みな通じることが出来るレベルにならなければなりません。

3. ただ唯一のイエス・キリストだけあかししましょう

最高の感謝は、私を通して、私の中で働かれるキリストを多くの友だちが分かるようにさせることです。世の中の人々も、私をキリストの働き人、神様の興義をまかされた者だと認められないように、最高のレベルと献身で、毎日、決断して、いつも更新しましょう。

私が通る場所ごとに、イエス・キリストの福音の香りが伝わって残ることができるように、ことばと行動と思考のレベルを高くできるように助けてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

レムナントらしいレベルに上がりましょう!

レムナントのレベルとは、なんでしょう。感謝する心で、低いところからはじまることです。私の考え、私の心、私の態度、私の言うことば、私の生き方について、一度、書いてみましょう。

私がいつも考えること:

私がいつも持っている思い(心)

私がいつもしている行動(態度)

私が言うことば:

私の生活のスケジュール



お手本くんの三重生活

脱出記

「やっぱり、お手本くんは、ちがうね」

日曜学校の先生が言われた。

「牧師先生の息子だからなのか、本当にしっかりしています」

「どうして、あれほどみことばをよく聞いて、勉強もよくできるのでしょうか」

そばにいた人々も、そうだとうなずいた。

お手本くんのパパは教会の副牧師先生だ。勉強もよくできて、言うことをよく聞く、お手本くんは、教会の自慢の種だ。しかし、お手本くんには、ほかの人々が知らない面があった。

教会の大人たちにあいさつもよくして、教会の兄姉の言うこともよく聞いて、教会の弟や妹もよく世話するお手本くんだが、家に帰ると、完全に180度、変わるのだ。

「いやだ。いやだよ。となりのマコトが持っているゲームを買ってよ。」

ゲームを買ってくれないなら、ごはんも食べないからね！」

お手本くんの、パパとママは、お手本くんがこのようになる時ごとに、とても困ってしまうのだった。

ところで、お手本くんの学校の姿はさらに問題であった。

お手本くんは、勉強もよくできて、運動もよくできる。そして、ユーモアもあって、人気がある。しかし、友だちがお手本くんの話を聞かないときは、口にできないほど激しくののしった。なぐって、あるときは、無視していじめることもあった。クラスの友だちは、はじめはお手本くんが好きでついて回っていたが、今は、こわくてついて回るようになっていた。

ある聖日、お手本くんは、礼拝を準備するために小学生部の礼拝室に行った。礼拝室の一番前の席に、マコトが両手をあわせて祈っていた。お手本くんは、マコトを驚かせようと、いじわるな思いで、こっそりと近づいた。

「神様、お手本くんは、教会と家と学校での姿が完全にちがいます。ぼくの友だちのお手本くんが、福音の中で深く根をおろせるようにしてください」

お手本くんは、マコトの祈りを聞いて、その場にすわりこんでしまった。自分が教会と家と学校でちがう姿で生きているということを、だれも知らないと思っていたからだった。



福音の根を深くおろしましょう

1. 過去のまちがった姿からぬけ出して、かならずなる未来を見上げながら、今日を信仰で過ごしましょう。
2. 神様によりいっそう、近づくことができるように、みことばを黙想する、一番幸せな時間を持ちましょう。
3. 伝道訓練を通して、福音の中にもっと深く根をおろしましょう。